



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2020年4月 No.455  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『40周年に向けた一歩』 国際会長 : 『より良い明日のために今日を築く』 アジア太平洋地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『風となれ、ひかりとなれ』 中西部部長 : 『為せば成る』	会 長 : 中村 茂高 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 大村 肇 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 中村 幸枝 YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

## Biblical Message of April

わたしはまた、新しい天地と新しい地を見た。

.....

(ヨハネ黙示録 21 章 1-4節)

## 歴史紀行は楽しい

三浦 直之

松本清張の短編小説の“陸行水行”の冒頭に次の一文があります。「・・・この宇佐駅からさらに北に向かって三つ目に豊前善光寺という駅がある。そこから南の方、つまり山岳地帯に支線が岐れていて四日市という町まで行っている。この辺は山に囲まれた所で、さらに南に行けば、九州アルプスの名前で通っている九住高原に至る。四日市の駅で降りると、バスは山路の峠を走るが、その峠を越すと山峡が俄かに展けて一望の盆地となる。早春の頃だと、朝晩、盆地には霧が立籠め、墨絵のような美しい景色となる。」うっとりとするような美しい文章です。松本清張(1909~1992)は何の説明もいらない日本を代表する作家で、以前、代表作の一つの「砂の器」を映画で見ましたが、日本の美しい風景をバックに人間の業を深く描いた作品で大変感銘を受けました。

私ごとですが、昔、東京の杉並区浜田山にある高校に通っていました。年1回課外授業として各界で活躍されている方のお話を聞く授業がありました。その時、松本清張さんが来られてお話をお聴きする機会がありました。

次頁に続く

## April Club Meeting

### 『YMCA サービス/ASF』

#### 4月第1例会(新型コロナの影響で中止)

- 日 時: 2020年4月15日(水) 18:30~20:30  
 場 所: ホテルグランヴィア大阪  
 司 会: 坂本 千春メネット
- 開会 中村 茂高 会長
  - ワイズソング 一同
  - 聖句朗読 谷川 寛 君
  - ゲスト・ビジター紹介 中村 茂高 会長
  - 今月の強調月間 三浦 直之 君
  - 晚餐 一同
  - 卓話「高槻カトリック教会と高山右近」  
高槻クラブ・萩原 博子さん
  - 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
  - 連絡・報告 各メンバーから
  - 閉会 中村 茂高 会長

お誕生日: 隅田 恵子メネット

#### 4月第2例会

日 時: 2020年4月22日(水) 18:30~20:30  
 場 所: 土佐堀YMCA会館4階

花見の宴もできず、さびしいな.....



## 【クラブ統計 Statistics】

3月	種 別	第1例会 (中止)	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	0名	8名	3月	0円
例会出席 8名	メネット	0名	0名	現 金	0円
うちメンバー	ビジター	0名	0名	累 計	
0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手	204g
出席率 44.4%	合 計	0名	8名	現 金	0円
					累 計: 73,200円
					オーガニズ 1,500円

当時氏は作家として大変活躍されていました。その時は戦国武将の話で、確か武将が胆石で苦しんでいたが、その胆石を取り出してみると、敵将の顔に似ていた。にっくきやつめと刀で切り刻んだというようなことを話されると記憶しています。特徴のある良いお声でした。

今、私は時間のある時、氏の「昭和史発掘」（全 9 巻、文春文庫）を読んでいます。昭和初頭からの歴史を膨大な検証に基づき、実に詳細に描いています。学校の授業などでは到底習わなかった内容です。

大正時代或いは戦前の昭和とはどんな時代だったのか、大変興味があり勉強になります。

時間を見つけて、歴史の時代背景を楽しみながら読んでいきたいと思います。

### 【今月の聖句】

わたしはまた、新しい天地と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下ってくるのを見た。その時、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死がなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のもは過ぎ去ったからである。」

(ヨハネ黙示録 21 章 1～4 節)

新型コロナウイルスが世界を不安に駆り立て、悲しみが覆っています。パンデミックといわれるような世界的疫病が、人類の歴史を何回も襲いました。グローバル化した今日、その拡がり、恐ろしく速いスピードです。人類の歴史は悲しい出来事のみ多くあるように思われます。しかし、間もなく復活節を迎えます。

今回引用の聖書の言葉のように、希望も与えてくれます。このような時、あのアフロ・アメリカン・スピリチュアル「あなたもそこにいたのか」(Were you there?)を思い出します。その 5 番は次のように始まります。あなたもそこにいたのか、主がよみがえられたとき、ああ、いま思い出すと、深い深い愛いにわたくしはふるえてくる。

(聖句選・コメント： 谷川 寛)

## 3月第2例会報告

と き：3月25日(水) 18:30～20:00

ところ：大阪 YMCA 会館 4F

出席者：石津、大村、芝田、谷川、中村茂、船戸、何、三浦

### 〈今後の例会〉

4月例会＝実施の意向で、10日前に最終判断の結果、中止決定。

5月＝「現代の日韓文化交流」藤井幸之助さん

### 〈クラブ活動〉

- \*ハワイ・ヌアヌクラブから寄贈を受けたマスクについては、120枚を大阪 YMCA の表コミとインターナショナルハイスクールに贈る。40枚はクラブ希望者に。
- \*桂吉弥落語会(3/28)の当日、来場者対応＝大村、中村茂、芝田メン。
- \*従来の5月キックオフミーティングは参加者が少なくなったので無くす。5月第2例会で案を出して、6月第1例会の時にはかる。

## YMCA ニュース

### 新型コロナウイルス感染症予防・拡散防止対策です。

大阪 YMCA では、新型コロナウイルスによる感染症予防・拡散防止のため、行政機関等の情報を収集し、以下のような対策の実施とご協力をお願いをしております。

### ○プログラム・授業・行事・集会の実施について

大阪市・大阪府等の行政機関からの情報、社会的状況を慎重に判断しながら、以下のような対策をとっています。

- ・多数の方が参加するプログラム、行事の中止または延期。学校の授業などの開始時期の延期。
- ・ボランティア活動やその他関連する定例会などの中止や延期。
- ・教職員の通勤時間帯の変更やテレワークへの備え。
- ・入職式の規模縮小・簡略化とソーシャル・ディスタンスの実践

なお、個々の事業や施設でのプログラム、学校や園の授業・活動、ボランティア活動等の詳細については、事業所ごとのホームページまたは受付にてご確認ください。

### ○来館に際してのお願い

1. 発熱や風邪の諸症状が見られる場合は、来館をお控えください。
  - ・検温時に 37.5 度以上という基準にとらわれず、平熱よりも高めの場合は慎重にご判断ください。
  - ・のどの痛み、倦怠感、咳などがある場合は、無理をせず来館を見合わせてください。
2. マスク着用のご協力をお願いいたします。
3. 館内にあるアルコール消毒液をご使用ください。
4. 家族で体調不良の方、感染者があった場合は、来館をお控えください。

ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(船戸 輝久)

谷川 寛

中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの身边にもいろんなインパクトを与え始めています。海外では、今回の疫病を” Covid-19” と呼んでいるようです。

ワイズ関連では、良い知らせです。以前香港ボヒニア・ワイズの会長で、後に米国に移住、目下 NY 在住の Betty Lai さん（当クラブ隅田会長当時、ご主人と二人を日本に招待）から、日本ではマスクが品不足と聞いているとして、一箱私宛てに郵送した、とのメールが届きました。次回、例会でお会いする折、披露します。また、ハワイ・ヌアヌクラブの Maurice Shimonishi さんからは、日本での品薄の現状から、クラブで日本にマスクの発送することを検討する、との便りがありました。ハワイでは、このようなマスク使用の経験がなく、どんなマスクが欲しいのか、と尋ねてきました。果たして調達できるのか、楽しみです。両クラブからの嬉しい知らせです。海外にブラザークラブを持つことの予期しなかった展開です。

日本で私たちが消費するマスクは、国内生産が30%しかなく、残りは中国からの供給に依存しています。現在の中国の状況から、同国からは当分期待できそうにありません。日本のメーカーは、目下、フル生産のようですが、しかし、増設にまで踏み込んでいないようです。いずれ今回の騒ぎが収束して、生産過剰になった時のことを恐れているのかもしれない。安倍首相は、余剰になれば政府で買い取るとまで発言していますが……。

今回の中国での新型ウイルスの発生で、中国の世界経済に与える影響の大きさを知らされました。中国は世界の GDP の 16%を占めるまでになりました。中国の世界経済における大きさです。今回の騒動は、世界の製造業の生産を揺さぶり、世界中の企業が中国中心の Supply chain（供給網）への影響を心配し始めました。また、中国の市場としての需要減少も懸念材料です。

今日、世界はあまりにも中国からの商品供給に頼りすぎています。自動車部品を例にとっても、中国からの輸入部品が不足し、目下日本で完成車の出荷ができないそうです。東日本の震災の時に、同じような現象が起きました。一極集中を避け、Supply Chain の分散化が必要です。しかし、最近の商品の高度化から、そう簡単に供給網の変更は難しいようです。

一方、中国の市場としての需要にも異変が出ています。今回の騒動から、一時的にせよ中国の需要は落ち込み、中国向け輸出は減少しています。また、中国を中心に日本への観光客の大幅減少も憂慮されます。このようにグローバル化した世界の動きが縮小傾向にあります。世界の GDP の成長が大幅に落ち込むことは、今年は避けられなくなりました。



3/25 第2例会で、ハワイ・ヌアヌクラブから寄贈いただいたマスク 160 枚の内、120 枚を大阪 YMCA に贈りました。

### 武田善博さんの自己紹介で～す

この度入会させていただき光栄に存じます。私は現在ソニー生命保険株式会社に勤務し、生命保険・損害保険などの募集活動で日々動き回っております。趣味は書道、絵手紙、ゴルフ、アイスダンスと色々やっております。特にアイスダンスのパートナーは妻で、技術的に未熟な私はいつも叱られてばかりです。これからは皆様のご指導をいただきながら、自身も成長していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



星条旗を掲げた友人宅



## 藤原ワイズから学ぶ

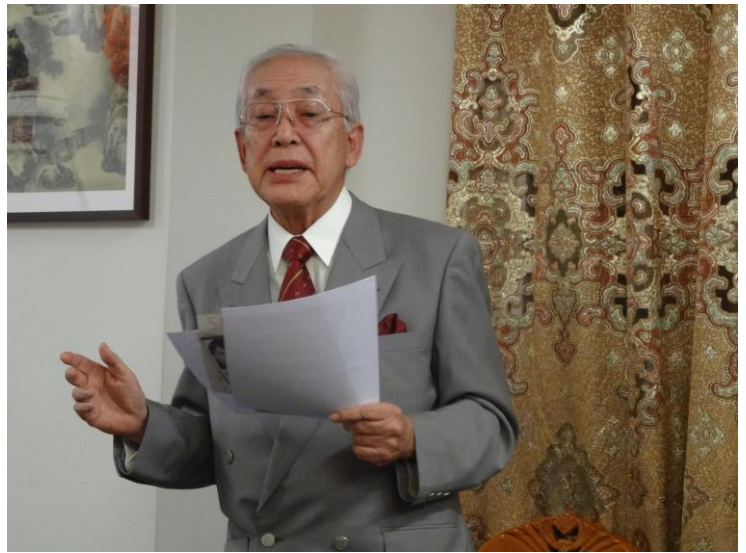
### 「明るく、進んで、さりげなく」

中村 茂高

この2月、享年84歳で天に召された藤原正巳ワイズの偲ぶ会を行いました。氏はよく「君らは暗闇でウインクするようなもんや。それでは何も伝わらんで」と常々言っていました。確かに、写真に映る氏は、だいたい中央に居ました。仕事柄か、常日頃から、そういう立ち位置の自分を心がけていたのでしょう。私はどちらかというと、写真を撮られる時は、少し奥か脇にいるのが常で、よく氏の腕が伸びて、「中村さん、もっと前に出んと」としかられたものです。とにかく、明るく、ピクニックにでも出かけるような気楽さで、物事を進めていくような人で、IBC 交流でも、香港やハワイに行く時は、率先していつも添乗員を買って出ました。

私が入会した当時は、2年後の20周年記念事業をどうするかで、悩んでいた時でした。「記念例会をホテルで済ますのではなく、何か事業がしたい」というのがみんなの気持ちでした。その結果、沖縄と韓国で、米軍人や軍属と地元女性との間に生まれた、当時偏見と差別の中にある「アメラジアン」と呼ばれる子どもたちのキャンププロジェクトを実施したのです。しかしその経費は予想をはるかに超えるもので、他から助成を得て実施したものの、その代償は大きく、私たちの貯蓄はすっかり底をつき、不足分を会計担当が立替える始末でした。その事実を知って、私たちは愕然としました。そのような中、氏は自ら会計担当を引き受け、無駄な支出をなくし、オークションなどで収益をあげ、またたく間に財政を立て直してしまったのです。誰もが尻込みするなか、自ら手をあげ、さりげなく、誇ることなく、やり遂げてしまったのです。私は、氏の手際よさに感心するとともに、その姿勢にワイズの理想を見る思いがしました。そして、私たちは2年後の2022年、40周年を迎えることになりました。さて如何に

(滋賀蒲生野クラブの4月号ブリテンから)



2014.10.15 例会・香港ナイト 中華レストランで



2011.2.17-21 香港訪問 ポヒニアクラブのメンバーと

## 後 記

桜も満開の時期を迎えますが、なんとなく心が沈みます。コロナショックはとどまるところ知らず、拡大感染が続いています。しかし、そんな時こそ、人の善意は光ります。ハワイ、ニューヨークから、現地も相当大変ななか、私たちのために、手を差し延べてくれました。とてもありがたいことです。私たちもどこかに心の余裕をもちたいものです。どのような状況下でも耐えしのぎ、あきらめることなく、思いやる心を失わず、少しずつ希望の光を見いだしていきましょう。

Shige